

熱媒体油及び冷熱媒体剤

射出成型機の金型、化学工場、窯業、合板製造、アスファルトプラントの加熱等の間接加熱媒体として鉱油系熱媒体油が広く用いられている。最近では、炭化スラッジ生成の少ない合成油系が多くなっている。

また、化学工場等の冷熱媒には、エチレングリコールを主成分にした冷熱媒体剤が使われている。

《加熱装置の機構》

- ①密閉式液相自然循環方式
- ②開放式液相自然循環方式
- ③液相強制循環方式

【熱媒体油】

粘度区分 ISO VG	新日本石油	出光興産 (ダフニー)	J・エナジー (JOMO)	コスモ石油	シェル石油	エクソンモービル	松村石油
15以下		サーミック 8 ※アルファサーモ VP					バーレルサーム 330, 330
22		※アルファサーモ 22A			サーミヤオイル B	モービルサーム 603	バーレルサーム サームオイル 26SAN
32	※ハイテクサーム ハイサーム 32	サーミック 32 ※アルファサーモ 32B	サーモゾール 32	コスモサーム 32	サーミヤオイル X ※X-Z		バーレルサーム サームオイル 32A
46				コスモサーム 46			
68	ハイサーム 68	サーミック 68	サーモゾール 68	コスモサーム 68			サームオイル 78A
100	ハイサーム 100						サームオイル 90A
150以上							サームオイル 160, 500

※は合成油系

【冷熱媒体剤】

区分	新日本石油	東京ファインケミカル
冷熱媒体	※ プリサイズフルード 2001	オーロラライン TS, E P, PS

※工作機械温度制御システム用冷却液

2009年1月改編